

プロジェクト・ステート・シート記入例

表1. プロジェクト概要

プロジェクト名/サブプロジェクト名	Aプロジェクト	Xサブプロジェクト	開始	2006/8/1	納期	2007/3/31	判定/TOPIC	/特になし			開発規模見積(人月)	*****
プロジェクト番号	P08-0001	01	クラス	C	請求予定額(千円)	*****	予算(計画)(千円)	*****	外注費(予定)(千円)	*****	開発規模実績(人月)	*****
オーダー	C2000		検収実績(千円)	*****	消化金額(千円)	*****	外注費(実績)(千円)	*****	経費(予定)(千円)	0	経費(実績)(千円)	0
顧客、担当者	システムズ、x x BU、	課長	検収率		予算消化率		予算外注率		予算経費率			
リーダー	ジョン・スミス											

<b>&lt;担当責任者コメント&gt;</b>	
記録番号	
作成日	2008年10月10日
開発部門	
担当責任者	PL
年月日	年月日

表2. プロジェクト状況

**プロジェクト状況**  
 実績 : 完了、 : 実施中、 : 実施予定、 x : 未実施、 - : 実施しない

**静的解析ツール実施状況** 本項目は静的解析ツールを実施する予定のプロジェクトのみ記載とする。それ以外は対象外(-)とする。  
 実績 : 完了、 : 実施中、 : 実施予定、 x : 未実施、 - : 実施しない

**開発管理手法** 計画、実績とも下記の記号で記入する。  
 進捗管理 : アローを利用、 : ガントチャートを利用、 : 市販ツールを利用、 x : 利用せず、 - : 対象外  
 ブロック図、組織図、構成部品表 : 利用、 x : 利用せず、 - : 対象外

・メトリクス: 予測値、実績値を記載する。  
 ・新規/改造区分 新: 新規開発物件、改: 改造物件、-: 対象外(ソフト開発無し)  
 ・開発言語: 開発で主に用いるプログラム言語を記入する。

・本項目は静的解析ツールを実施するプロジェクトのみ記載とする。  
 エラー数: ファイル単位のWarning Countを積算  
 if/do/switch量: ファイル単位のSTCYC(経路複雑度)を積算  
 ネスト: ファイル単位のSTMIF(関数メトリクス)の最大値

プロジェクト状況	プロジェクト状況						静的解析ツール実施状況		開発管理手法				メトリクス(必須)					静的解析ツール実施結果(任意)						備考					
	作業範囲と進捗						静的解析ツール実施有無	最終ソースでの実施	進捗管理	ブロック図	組織図	構成部品表	要求仕様・方式設計・詳細設計	単体・結合・総合テスト成績書	新規・改造区分	開発言語	ソースコード			エラー数			複雑さ						
	ソフトウェア要求仕様	ソフトウェア方式設計	ソフトウェア詳細設計	コーディング/単体テスト	結合テスト	総合テスト											設計書(頁数)	新規・改造規模(kStep)	開発母体	改造	開発対象外	完成母体	作業量(k s)		初回	最終回	IF/DO/SWITCH量	ネスト	初回
プロセス	RS	BS	DS	CUD	CD	SD											a	h	b	c			e						
プロジェクト進捗																													
レビュー	計画		2008/8/11	2008/10/12	2008/10/15	2008/11/10																							
	実績			2008/10/15																									
検証	計画		2008/9/20	2008/10/12	2008/10/30	2008/11/10																							
	実績		2008/9/20	2007/10/15																									
妥当性確認	計画		2008/9/22	2008/10/12	2008/10/30	2008/11/10																							
	実績		2008/9/22	2008/10/15																									

指標名	開発効率 (nKS/人月)	テスト実施率 (件数/KS)	不良発生率 (件数/KS)	複雑度 ((IF/DO/SWITCH量)ks)	作業箇所 : 改造を含み、調査や検証の対象となった箇所
対象部位	作業箇所	作業箇所	作業箇所	完成母体	完成母体 : 最終的なソースコード全体の量
計算式	c/開発規模実績	テスト件数 / c	件数 / c	e / b	
結果					

1. 1つのプロセスに、複数のレビュー対象物がある場合は、各プロセスの一番最後の対象物のレビューが完了し出荷した時点で、"完了"と記載する。  
 2. 計画から30日経過後も実績が記入されていないとセルが赤く変化(警告)します。

表3. プロジェクト状況(オーダー別)

オーダー	オーダー別作業範囲と進捗					
	RS	BS	DS	CUD	CD	SD
B4011-1						
B4011-2						
B4011-3						
B4011-4						
B4011-5						
B4011-6						
B4011-7						
B4011-8						
B4011-9						
B4011-10						

表4. 採算性

オーダー	納期	検収状況	検収額 (千円)	加工費 (千円)	経費 (千円)	外注費 (千円)	回収率	外注比率 (%)	成果物 (実績)
			j	m	n	o	j/(m+n+o)	o/(m+n+o)	
B3120	2007/5/30	2008/5/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	RS
B3447	2007/6/30	2008/6/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	BS
B3448	2007/6/30	2008/6/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	BS
B3596-1	2007/7/31	2008/7/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	DS, CUD
B3596-2	2007/8/31	2008/8/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	CUD
B3596-3	2007/9/30	2008/9/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	CUD, CD
B3596-4	2007/10/31	2007/10/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	CD, SD
B3596-5	2007/11/30	2007/11/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	SD
B3596-6	2008/12/31	2008/12/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	SD
B3596-7	2008/1/31	2008/1/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	***	0%	SD
合計			0	0	0	0	***	#DIV/0!	

表5. 不具合管理と是正処置状況

項目	社内発生不具合件数(月度)	顧客指摘不具合件数(月度)	仕様変更件数(月度)	不具合発生件数合計(累積)	不具合処置済件数(累積)	是正処置状況
2008年8月	0	0	0	0	0	
2008年9月	200	10	4	210	4	対策不要
2008年10月	50	120	3	380	17	対策完了
2008年11月	25	60	5	465	48	
2008年12月	20	110	2	595	70	経過監視
合計	0	300	14	595	595	

是正処置状況: [Step1] 経過監視, [Step2] 対策不要, [Step3] 対策中, 対策完了

表6. 開発ツール

目的	ツール名
ビルドツール	RaIView
テストツール	ELT
変更管理	(アクセス版)
バージョン管理	Subversion

**ビルドツール:** ツール名を記載 (GCC, HEW, RealView, VisualStudio)

**テストツール:** ツール名を記載 (ELT, C++test, CUnitなど)

**変更管理:** : 変更管理ツール(JRCE標準)を利用、 : バグ管理表を利用、 : 市販ツールを利用、 x : 利用せず、 - : 対象外

**バージョン管理:** 「管理ツール名」または「方法」を記載